

# 立志だより



立志・自主・勤勉

与那原町立与那原中学校  
校長 垣花英正

## ○福祉講話

9月26日(月)、1学年の総合的な学習の時間に『福祉』とは何かなど、福祉全般に関して理解を深め、『福祉』に関心を持つことをねらいとして、福祉講話が行われました。

与那原町社会福祉協議会から講師をお招きし、「福祉ってなんだろう」という演題で講話をしていただきました。生徒の感想を記載します。

### 1年2組 森山 凜香 さん

私達の与那原町には、何十名もの障がい者がいることが分かりました。普通の人と比べて、障がい者は当たり前のことすらもできなかつたりするので、とても大変だなと思いました。このような人達を見て見ぬふりはよくないと思いました。

高齢者の人へも同じです。高い声や早口で話してしまうと聞こえづらいと知ったので、ゆっくりと大きな声で話してあげると相手のためになると分かりました。私はおばあちゃんと話すとき、高い声で話していたので、気をつけようと思いました。

### 1年3組 呉屋 凜華 さん

福祉は普段の暮らしの幸せを意識していると分かりました。今日の話聞いて気をつけたいと思うことがありました。それは障がいを持っている人の生活に支障が出るような、道の中央に自転車を置いたり、広がって歩いたり、無意識にしないようにすることです。これからは、障がいを持っている人のことを考えて行動することを心がけていきたいです。

### 1年4組 外間 優梨亜 さん

今日、福祉について詳しく知って、その中の仕事でも色々大変なことがたくさんあることが分かりました。障がいにも、身体、知的、精神的などの種類があつて大変なんだなあと思いました。

視覚障がいでも、全く見えない人、少し見える人がいて、聴覚障がいも全く聞こえない人、少し聞こえる人など様々で、もし困っている人がいたりしたら、「どうかしましたか？」みたいに声をかけて、少しでも役に立てるように頑張りたいです。



## ○芸術鑑賞会

9月30日(金)、「日本の文化を体験することで、伝統文化に対する興味・関心を高める」ことをねらいに、芸術鑑賞会が行われました。今年度は、落語家の「桂 竹千代」さんと芸人の「できたくん」さんをお招きしました。

「桂 竹千代」さんは、落語の歴史、一人で二人以上の役をするときの顔の向け方、扇子や手ぬぐいの使い方などを紹介し、いくつか小話で笑いを取った後、最後に古典落語の「時うどん」を披露してくれました。

「できたくん」さんは、発砲スチロール芸で有名な方で、テレビやYouTubeにも出演しており、知っている生徒もいました。この日は、発砲スチロールを音楽に合わせて巧みに切り、キリン、ピカチュウなどを作り、最後は生徒のリクエストを受け、「沖縄」という文字、「肴をくわえた猫」などを創りました。できた作品は、生徒に贈られました。生徒の感想を紹介します。

### 1年3組 渡邊 美空 さん

落語家の桂竹千代さんは、落語家について教えてくれました。落語家は、一人で話を進めるところがすごいと思いました。芸人のできたくんは、楽しそうにやることで見ている人も聴いている人もみんな楽しくなると言っていました。また、私の想像を超えたものを創っていました。

### 2年1組 與那 康生 さん

今回の芸術鑑賞会で思ったことは、落語のイメージが変わったことです。落語は年配の方達が見ていそうであまり興味がわかかなかったけれど、今日初めて生で見ると、とてもおもしろかったです。また、できたくんの発砲スチロールを切って色々なものを創っているのがおもしろかったです。どちらもYouTubeで見られるので、家に帰って見たいと思いました。

### 3年1組 安谷屋 侑杏 さん

落語は今まであまり見てこなかったけど、扇子や手ぬぐいを物に見立てているのがすごいと思いました。発砲スチロール芸では、キャラクターだったり、先生の顔を創ったりしていて、とてもすごいと思いました。今日を通して、日本の文化について学ぶことができ、良かったです。



